

【8つのビジョンと基盤整備】

●「8つのビジョン」を支える人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

【ポイント】

- ▶ 「8つのビジョン」を効果的に推進するためには、人・物・情報の流れや、日々の生活の基盤づくりが必要不可欠であり、さらに、広域連携プロジェクトや地域振興計画との連動により、地域の個性ある魅力づくりや更なる成長・発展につなげていくため、人流・物流・情報通信・日々の生活の基盤づくりを促進します。

【重点分野】

■ 人流・物流の基盤づくり

(主要な方策)

- ・新名神高速道路の全線開通と6車線化の促進
- ・山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けた整備とルート確定の促進
- ・舞鶴国際ふ頭における第2バースの整備とⅡ期整備等による京都舞鶴港の機能強化
- ・自動運転による新たな移動ツールの導入、自動配送による物流の効率化の普及

■ 情報通信の基盤づくり

(主要な方策)

- ・デジタル・トランスフォーメーション推進やメタバース活用のためのプラットフォームを構築するとともに、サイバー空間における経済活動上の安心や信頼性の確保等に資する環境を整備
- ・府民誰もが、テレワーク・遠隔教育等のサービスを利用する上で不可欠な、光ファイバー等の情報通信基盤の府内全地域への展開の促進
- ・デジタル社会に即した個人情報保護等に対応した、府内の行政機関・中小企業・医療機関等を含めた社会全体のセキュリティ対策の推進
- ・官民ともに不足するデジタル人材の育成やデジタルディバイド対策など、デジタル社会に即した人への支援
- ・AIを活用した災害予測やICTを活用した遠隔診療、Ma a Sなど、府民生活に身近な防災・医療・交通等の分野におけるデジタル技術の実装促進
- ・融資制度の拡充などにより、情報通信を利用するテレワーク等に適した間取り変更等の住宅改修を促進

■ 日々の生活の基盤づくり

(主要な方策)

- ・持続可能な地域公共交通の確立をめざすための「地域公共交通計画」の策定支援
- ・鉄道駅における利用環境の整備や駅を中心としたにぎわいづくり等による公共交通の利用促進
- ・誘導ラインの設置や舗装の補修など、自転車走行環境整備の推進
- ・府立公園における手洗い場やトイレ等の衛生環境の改善や、芝生広場等のオープンスペースの整備の推進

・京都府公共施設等管理方針の個別施設計画に基づくインフラ施設の計画的な点検、補修

山陰近畿自動車道の早期整備

京都舞鶴港国際ふ頭第2バース整備・Ⅱ期整備

地域公共交通計画の策定支援

鉄道駅等を中心としたにぎわいづくり

府全域でのデジタルインフラ整備推進

デジタル技術の実装・人材育成・デジタル
デバインド対策、セキュリティ対策

京都縦貫自動車道 NEXCO移管
⇒更なる4車線化の推進

デジタル・トランスフォーメーション推
進やメタバース活用のためのプラット
フォームの構築

誘導ライン設置など、自転車走行環境整備

インフラ施設の計画的な点検・修繕

2024年度 新名神高速道路（大津～城陽）開通
・6車線化の促進

新名神 IC・東部丘陵地整備

自動運転による新たな移動ツールの導入

自動配送による物流の効率化

※新たな国土軸を形成する国家プロジェクトとして、リニア中央新幹線や北陸新幹線の整備が予定されています。